

にほんキリストきょうだん
日本基督教団 信仰告白

(一九五四年制定 朗読用表記)

我らは信じ、かつ告白す。

旧新約聖書は、

神の靈感によりて成り、

キリストを証し、

福音の真理を示し、

教会の拠るべき

唯一の正典なり。

されば聖書は

聖霊によりて、

神につき、

救いにつきて、

全き知識を我らに与うる

神の言にして、

信仰と生活との

誤りなき規範なり。

主イエス・キリストによりて

啓示せられ、

聖書において証せらるる唯一の

神は、

父・子・聖霊なる、

三位一体の神にいたしましたもう。

御子は

我ら罪人の救いのために

人と成り、

十字架にかかり、

ひとたび己を

全き犠牲として

神にささげ、

我らの贖いとなりたまえり。

神は

恵みをもて我らを選び、

ただキリストを

信ずる信仰により、

我らの罪を赦して

義としたもう。

この変らざる恵みのうちに、

聖霊は

我らを潔めて

義の果を結ばしめ、

その御業を成就したもう。

教会は

主キリストの体にして、

恵みにより

召されたる者の集いなり。

教会は

公の礼拝を守り、

福音を正しく宜べ伝え、

バプテスマと 【洗礼式のこと】

主の晩餐との 【聖餐式のこと】

聖礼典を執り行い、

愛のわざに励みつつ、

主の再び来りたまうを待ち望む。

我らは

かく信じ、

代々の聖徒と共に、

使徒信条を告白す。

……(ここから古代教会最古の「使徒信条」)

我は

天地の造り主、

全能の父なる神を信ず。

我は

その独り子、

我らの主、

イエス・キリストを信ず。

主は

聖霊によりてやどり、

処女マリヤより生れ、

ポンテオ・ピラトのもとに

苦しみを受け、

十字架につけられ、

死にて葬られ、

陰府にくだり、

三日目に死人のうちより

よみがえり、

天に昇り、

全能の父なる神の

右に坐したまえり、

かしこより来りて、

生ける者と死ねる者とを

審きたまわん。

我は

聖霊を信ず、

聖なる公同の教会、

聖徒の交わり、

罪の赦し、

身体のよみがえり、

永遠の生命を信ず。

アーメン